



R5 八鹿っ子

～ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成～

6年生が「立志の書」を収納しました

八鹿小学校卒業生は卒業時に「立志の書（20歳の自分に宛てた手紙）」を書いて希望の塔に収納します。そして、9年間の時を経て、20歳の夏に開催される「希望の塔開扉式」で立志の書を取り出すのです。9年間の時間を隔てて行われる二つの行事は、本校同窓会ならではの特色ある取組となっています。今年度も3月8日、広瀬栄同窓会長をはじめ、同窓会役員の皆様にお越しいただき、6年生38名の「立志の書収納式」が執り行われました。



収納直前。希望の塔の前で

体育館では、厳粛な雰囲気の中、6年生代表が「誓いの言葉（巣立ちの決意）」を述べるとともに、桐箱に入れられた「立志の書」の授受が行われました。その後、希望の塔に移動し、「立志の書」を収納しました。

「今の自分と20歳の自分はまちがなくなつてつながっていること」「今日からの自分は20歳の自分を創っていく責任者であること」を忘れずに、自立への道を歩いていってほしいと思います。

巣立ちの決意

私たちは卒業するにあたり、未来の自分に向け手紙を書きました。「自分は自分を創っていく責任者」として、自分自身をしっかりと見つめ、夢に向かって挑戦し続ける決意が記されています。

この六年間、八鹿小学校で様々なことを学んできました。特に今年家族、先生、地域の方々、友だちの支えを大きく感じ、当たり前が当たり前に行える生活に感謝することを学びました。

この学びを忘れず、再びこの立志の書を開くとき、今の自分に誇れる自分になっていくために、精一杯自分自身を磨いていくことを決意します。

令和六年 三月八日

卒業生代表 東影 沙空

■ スキー教室 【5・6年生】 2月16日

インフルエンザによる学年閉鎖により残念ながら4年生は参加できず、5・6年生によるスキー教室となりました。積雪も十分にあり、絶好の条件のもとでのスキー教室になりました。学校と異なる場所での学習であるにもかかわらず、子どもたちはその時その場のルールをしっかりと守っていました。集団での動きが軽やかで、しっかりと話を聞き、時間通りスムーズに活動できたことも、さすが高学年だと感じました。スキーの技術を高めるだけでなく、養父市の誇る大自然とふれあう本物の体験。子どもたちの充実感にあふれた表情が、その意義を物語っていました。多数ご参加いただいた保護者ボランティアの皆様、そして子どもたちを送り出してくださいました。ありがとうございました。



コーチの話をしっかり聞きました

■ 新入生体験入学会 【1年生】 2月21日

1年生が4月に入学予定の5歳児さん40人を迎えて「体験入学会」を行いました。1年生は少しでも学校の楽しさを伝えようと、この日のために準備をしてきました。新入生に、絵本を読んであ

げたり、教科書を見せあげたり、ランドセルを背負わせてあげたり、学校内を案内したりしました。異年齢での交流は、子どもたちにとってとてもねうちのある学習の場になります。誇らしげで、自信に溢れた1年生の様子。1年間の学校生活で、こんなにかしこく、優しく、強くなることを示してくれました。新入生たちは、入学が待ち遠しくなったにちがいません。40名の新入生の皆さん、ワクワクドキドキの八鹿小学校へ、入学をお待ちしています。



たぬきの糸車の音読を披露



新入生とペアになって

■ 令和6年度児童会役員選挙 2月28日

令和6年度に高学年となる4年生と5年生から、なんと25名もの立候補者があり、前期児童会役員選挙が行われました。当選できるのは6名だけなので、かなり狭き門です。それでも挑戦しようとする気持ちと、この場に立つ決意をした勇気を讃えたいと思います。インフルエンザの流行のため、直前まで出席停止だった子もいます。もう少し準備期間がほしかったという子もいるでしょう。けれどもそんな条件に負けず、立候補者と応援者は、八鹿小学校をよくしていきたいという自分の思いを全校生の前で堂々と話すことができました。聞いている全校生の態度も立派でした。151年目の八鹿小学校も、八鹿っ子たちの活躍がいつそう楽しみになりました。



25名の立候補者。いつもなら同席する応援者はフロアで待機しました

■ 6年生を送る会 3月6日

全校生が集い「6年生を送る会」を実施しました。6年生への感謝とお祝いの気持ちを伝えるために、5年生が中心となって企画・運営をしてくれました。それぞれの学年部と6年生が遊ぶゲーム、幕間の寸劇、6年生に送るスライドショー、6年生への寄せ書きのプレゼント。6年生への



楽しいゲームでみんな笑顔



アーチをくぐって退場する6年生

「ありがとう」の心があふれて、見どころ満載の会となりました。それをしっかりと受け止めた6年生の態度も実にさわやかで、さすが6年生だと思いました。そんな6年生から「八鹿小学校のリーダーのバトン」を5年生に手渡したシーンはとても象徴的でした。在校生と卒業生の間で大切なものを受け継ぐ“やりとり”ができたことをとても嬉しく思います。5年生にとっては、まさに渾身の「6年生を送る会」。次のリーダーを担う5年生のがんばりをとても頼もしく思いました。

八鹿小学校創立150周年記念品をいただきました

八鹿小学校同窓会から、八鹿小学校創立150周年を記念した品であるペーパーウェイトを、児童一人一人にいただきました。校長室には創立100周年を記念してつくられた文鎮が今でも置いてあります。創立100周年の文鎮と同じように、150周年のクリスタルペーパーウェイトが長くそれぞれのご家庭にも残り続けることでしょう。同窓会の皆様、ありがとうございました。



左が150周年記念でいただいたペーパーウェイト。
右は100周年でつくられた文鎮。